




平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県郡山市 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	郡山市立桜小学校 全学年（468名） 教職員（33名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（ 道 徳 ） ② 行事名（ おもてなし講座 ） ③ その他（ あいさつ運動 ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（ ） ② その他（ あいさつ運動 ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの開催を数年後に控え、児童にはオリンピック精神や市内外からいらっしゃる方々へのおもてなし精神を学び、日常生活に生かせるよう努めたい。
5 取組内容	<p>(1) 講演会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 筑波大学客員教授 江上いずみ先生を講師としてお迎えし、「グローバルマナーとおもてなしの心」の演題で、下学年（1～3年）と上学年（4～6年）の2部構成で全校児童を対象に講演会を実施した。 ② 講演会后、さらに各学級において振り返りを行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 児童会によるあいさつ運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 毎週月・金の2回、生活委員会が中心となって、朝のあいさつ運動を行っている。 ② 月1回、PTA 学年委員の方々が昇降口に立ち、あさのあいさつ運動を行っている。 

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつの仕方の再確認を図れたことで、これまで以上にあいさつが良くなったと地域の方々から認められている。 ○ おもてなす心を学ぶことにより、子どもたちの意識にも変化が見られ、相手を思いやる気持ちがさらに深まった。 ○ これまでの慣習の中で間違っていた行為を見直すことができた。 (マナーの見直し) 例えば、トイレのノックは3回以上すること、など。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃の活動を見直すことができるように、発達段階に応じた指導の工夫 ○ 講演の際、下学年の児童にもわかるように言葉の工夫を依頼した。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ● マンネリ化しないための啓蒙活動をどのようにしていくか。 ● 子どもたちが常に振り返りができるよう活動の配慮をする。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続してできるよう活動の工夫をしていきたい。 ○ 活動の幅を広げるためにも、さらにオリパラ教育の推進を延長していきたい。